

# 天沼小だより

文責

校長 丹羽 悦子



## 運動会に向けて

運動会に向けて、各学年ブロックの練習が進んでいます。児童会が中心となって決めた運動会のスローガンは「頑張れば 必ず実る その絆」です。一人一人が力を出し切り、みんなで仲良く力を合わせれば、絆が深まるという事だと思います。9月5日(水)の朝行事では、結団式を行い、各団の絆を深める一歩となりました。どの団も力一杯頑張ってもらいたいと思います。

保護者の皆様には、運動会は子どもたちの大切な学習の一環であることをご理解いただき、運営等にご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。また、今週末15日(土)の奉仕作業におきましても、ご協力をよろしくお願いいたします。



【赤城団 (赤)】



【妙義団 (黄)】



【榛名団 (青)】

## 食育指導の様子

2学期になって、朝倉真由美栄養教諭が来校し、5年生の各クラスで「五大栄養素のはたらき」について中心となって授業をしていただきました。食育指導につきましては、子どもたちの健康に直結する内容です。各学年においても、食事の重要性やバランスの良い食事がなぜ必要なのか等指導していきます。



## 今、学校は・・・

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が、学校中に響き渡っています。心も体も元気な子どもたちは、登校もスムーズですが、少し生活リズムが夏休みに崩れたり、嫌なこと（たとえば、運動が苦手等）があったりすると登校を渋りがちなお子さんも見られます。本人や保護者の皆様と面談し、解決できるように先生方や相談員さんと協力しており、頑張る姿が見られています。

どのお子さんも、とても良いところを持っていますが、保護者様が仕事で忙しかったり、お子さんとの接し方に迷いを感じたりしていると心のエネルギーが少なくなってしまう、自信をなくしたり、親を困らせる行動に出たりしてしまいがちです。

「困ったな。どうして学校に行きたがらないのかな。」と心配な面が見られる場合は、お子さんとよく話したり、小さい子にするようにギュと抱きしめてやったりしながら心の声を聞いてみてください。保護者様のかかわり方で、心のエネルギーが満タンになると動き出していきます。

大人もいらいらしたり、困ったりすることがある時に、誰かに話を聞いてもらい、すっきりすると元気が出る、そんなご経験はないですか？疲れると甘えたくなる、そんな気持ちに気づいて関われば、きっと心の元気が取り戻せます。もし、お子さんのかかわり方で困りのことがありましたら、担任をはじめ教育相談員さんやスクールカウンセラーがおりますので、学校にご連絡ください。



## 夏休みに頑張った結果

夏休みの宿題の一つに「親子クッキング」がありました。親子で頑張った結果、桐生市の大会に出場し、素晴らしい成果となりました。毎日の中では、なかなかできないことも長期休業だからできることであったと思います。親子で話し合い、楽しそうに作る姿が目に見えられました。おめでとうございます。

- 一位 関 美彩都さん（5年2組）
- 二位 戸田 拓斗さん（5年1組）
- 三位 佐藤 理仁さん（5年1組）

なお、一位の関さんは、10月7日（日）に県大会に出場します。



全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 水球

- 三位 池田 萌人さん（6年2組）

全国大会で三位になることは、素晴らしいことです。努力の成果だと思います。

